

萩市と下田市は姉妹都市提携50周年

～山口県萩市から担当者が届けます！～

問合せ先 企画課秘書広報係（河内庁舎2階） ☎22212

萩市は山口県の北部に位置し、総面積は698.31㎢、人口は約41,000人の全国有数の観光都市です。山口県内有数の農林水産業が盛んな地域で、伝統工芸品の「萩焼」は日本屈指の焼き物です。

下田市と萩市は、共に吉田松陰ゆかりの地であることから、昭和50年10月28日に姉妹都市となりました。

平成4年には、下田市から総勢140名を超える皆様方が萩市を訪問され、維新祭・北浦ふるさとまつりで、「下田市河内手筒花火」をご披露いただきました。その後も、両市の訪問団がお互いに行き来を行うなど、これまで50年にわたり、さまざまな交流を続けてきました。

本年は姉妹都市提携50周年を迎えることを記念し、様々な事業を計画しています。

その第1弾として、今月は、萩市内高校吹奏楽部が公式訪問団として下田市を訪問。黒船祭のパレードで演奏し、下田高校吹奏楽部との交流を行います。

また、黒船祭会場にブースを出展し、萩市の観光情報案内と物産販売を行います。会場で見掛けた際には、ぜひお立ち寄りください。

広報誌では5月から10月までの全6回で、萩市の食や文化、自然、事業などを紹介します。ぜひご覧ください。



松下村塾



萩城城下町

伝わってきたこと、伝えていくこと

問合せ先：企画課秘書広報係（河内庁舎2階） ☎22212

港区、原町に所在する五六七稲荷は、江戸時代の創建と伝わる古社だという。原町の住民をはじめ、航海の安全を祈願する船の関係者からも信仰されていた。令和7年2月初旬、およそ30年ぶりに鳥居が新調され、記念式典が執り行われた。取材に伺うと、太田区長（当時）ならびに区役員が参列し、慎ましく式が行われた。境内には、前回（平成8年）の修繕時に作成された由緒書があり、社の来歴や祭神について知ることができた。その最後に「明治、大正、昭和と時代を経て昭和25年に再建され今日に至る。」という、地域の社が現代に伝わっていることを示す言葉で締めくくられていた。

式典終了後、太田区長と話をする機会があった。「30年前に親父たちの代が鳥居を新調し、これまで手を付けていなかった。経年劣化が進み、どう対処すべきか悩んでいたが、なんとか自分たちの代でも新調することができてよかった。まあ、次の30年後はどうなってるかわからないけどね。」そう話す区長の表情は、長年の懸念事項を解決できた嬉しさと、社の将来を心配する気持ち、その両方を含んだ笑みを浮かべていた。

現代社会では、様々な課題を抱え



ている。人口減少や少子高齢化、地域社会のつながりの希薄化など、都市部や地方の隔てなく、こうした状況に直面している。これらの難問は、これまでのように地域で伝わり、受け継いできたものを、『そのまんま』引き継いでいくことを難しくさせている。

おそらく、これらの課題に特効薬はないだろう。しかし、時間をかけて対処していかなければ、遠くない未来に私たち、もしくは次の世代に大きな影響を与えることは想像できる。

まずは現状を把握し、そう遠くない未来に考えを巡らしていくことが、地道ながらも確実に解決への一歩となるのではないかと考えるきっかけとなる取材であった。

防災かわら版 ～各種補助制度のご案内～

問合せ先 防災安全課防災係（河内庁舎2階） ☎364145

家庭用ポータブル発電機等購入費補助金

事前申請が必要です。

購入前に以下の4点を提出してください。

- ①交付申請書（様式第1号）
- ②仕様が分かるカタログ等の写し
- ③運転免許証、住民票等の写し
- ④見積書の写し（注1）

交付決定通知書が届いたら、購入してください。

（注1）30,000円以上の購入が見込まれる場合、2者以上の見積書が必要になります。

【上限額】40,000円

【補助額】対象経費の2分の1以内



持ち運び可能な発電機と蓄電池が対象です。

交流100V出力端子を備えたもの

家具等転倒防止促進事業費補助金

購入後の申請です。

購入後3か月以内に以下の3点を提出してください。

- ①交付申請書兼請求書（様式第1号）
- ②取付箇所の写真
- ③領収書の写し

【対象となるもの】

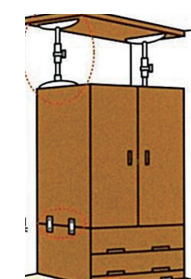
し字金具、つっぱり棒、ベルト、食器棚等の留め金具等

【上限額】・自ら取り付けした場合 → 10,000円

・事業者による取付の場合 → 20,000円
（購入費10,000円、取付費10,000円）

【補助額】対象経費の2分の1以内

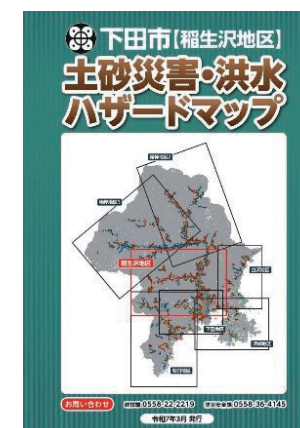
家具転倒防止設置例



土砂災害・洪水ハザードマップを更新しました

令和7年3月に「土砂災害・洪水ハザードマップ」を更新しました。主に稲生沢川を除く二級河川の洪水浸水想定が変更となりました。

広報しもだ4月号と合わせて配付しましたが、必要な方は建設課（河内庁舎3階）または防災安全課（河内庁舎2階）窓口までお越しください。



【同報無線による放送を聞き逃した皆さまへ】

同報無線放送後24時間以内であれば、放送内容を自動音声により確認できます（通話料金がかかります）。

電話番号 ☎3866